

## 研究計画書を書く意味と留意点

### 研究計画書の作成の意味

計画書を書くことで、頭の中にあった漠然とした研究イメージが具体化し、整理されてくる。また、研究に取りかかる前に何回か修正したりすることで、さらにイメージを整理していくことができるはず。

まず、班のみんなで案を出し合う作業を通じて、自分たちはどのような研究に取り組みたいのかとの構想を固めることと、共通理解していくツールとして活用できる。

### 動機・目的のチェックポイント

動機としては、この研究をやりたくなった経緯、なぜこのテーマを重要だと思うのか、この問題意識が醸成されたのかなど、具体的に記入してあるかどうかが挙げられる。

目的としては、研究の意味・意義・位置づけを明らかにしてあるか？目的に対しての結論になっているかの整合性も問われる重要な要素である。

### 研究計画のチェックポイント

「この研究は〇〇を目的として、◆◆をすることにより、△△をする研究である」  
に対して、

- ①「この研究は何をするのですか」
  - ②「この研究のねらいは何ですか」
  - ③「この研究はどうやってやるのですか」
- が読んでわかるように書かれているか？

### 研究テーマのチェックポイント

研究がどのようなものか端的、簡潔に表すこと。必要に応じてサブタイトルを付ける。

主タイトルを一般的にした場合、サブを具体的にする。主タイトルが具体的な場合は、サブは分野を表すような一般的なものとする。